向日ふるさと音頭

◆◇◆◇◆◇◆◇

盆踊りや地蔵盆の季節が近づいてきました。昨夏、町内会や各種グループから申し込みが相次ぎ、好評だった「向日ふるさと音頭」の指導員派遣を、今年も行っています。いろいろな行事に、ぜひご利用ください。

この指導員派遣制度は、市の音頭や踊りを広くみなさんに知って踊っていただけるようつくられたもので、派遣要請があれば直ちに指導員を派遣します。

踊り方そのものは、小さい子どもからお年寄りまで多くの人に踊ってもらえるよう、やさしいものになっています。

町内会の催しに、またグループの活動に、一度この「向日ふるさと音頭」を取り入れられてはいかがでしょう。

指導員の派遣要項

(1)指導員の派遣を受けようとする人は向日市民で、おおむね十人以上のグループとします。

(2)所定の申込み用紙（秘書広報課にあります）に必要事項を記入のうえ、派遣希望日の一週間前までに申込んでください。

(3)派遣できる区域は向日市内に限ります。

(4)指導員の派遣人数は、原則として2名以内とします。

(5)指導時間は、おおむね3時間以内とし、午後10時までとします。

(6)会場の確保・運営および指導に必要な備品は、申込み者において準備してください。

▼申込み・お問い合わせ
秘書広報課広聴係
内線　251

家庭児童相談コーナー
▽とき　月曜日～金曜日
午前10～午後4時
▽ところ　家庭児童相談室
☎933－1199

胃ガン・乳ガン・子宮ガン検診を実施

40歳は身体の節目といわれ、このころから身体の異常を感じることが目立ってきます。

また、この年代は社会の担い手、家庭の担い手として活躍中、少しの身体の異常を感じても、"年のせいだろう"と安易に考えてしまうことも往々にしてあります。

成人病といわれるガン・高血圧、糖尿病などはほとんど自覚することなく発病し、しかも慢性の経過をたどって病状が進むのが特徴です。

この機会にガン検診をうけて自分の健康をチェックしましょう。

また、秋には一般診査（心臓病・循環器検診）を実施する予定です。

胃ガン検診

☆申込方法
▼とき　7月1日から定員になるまで　午前9時～正午　午後1時～4時
▼ところ　市役所新館健康管理課または保健センター（電話可）
▼対象　妊婦を除く40歳以上の市民
▼定員　275人
☆検診方法
▼とき　7月25日～29日の午前中
▼ところ　保健センター
▼内容　検診車による胃レントゲン撮影
▼費用　無料
※8月にも申込受付します

乳ガン検診

☆申込方法
▼とき　7月1日・8月1日　午前9時～正午　午後1時～4時
▼ところ　健康管理課または保健センター（電話可）
▼対象者　30歳以上の婦人
▼定員　200人
☆検診方法
▼とき　9月1日、2日の午後
▼ところ　保健センター
▼内容　問診および視触診必要な人のみ超音波断層撮影
▼費用　無料（超音波断層撮影者のみ千円自己負担）
※12月と3月検診日の予約受付を9月～2月の1日（1月は9日）にも行います

子宮ガン検診

☆申込方法
▼とき　7月1日　午前9時～正午　午後1時～4時
▼ところ　健康管理課または保健センター
※郵送での申込みも受付ます（返信用封筒・切手・必要事項を同封のこと）
▼対象者　妊婦を除く30歳以上の婦人
▼定員　550人
☆検診方法
▼とき　7月中の診察時間内
▼ところ　指定医療機関
▼内容　市発行の受診券にて各自受診
▼費用　500円自己負担（70歳以上は無料、69歳以下でも無料になる制度がありますので申し出てください）
※8月～2月の1日（1月は9日）にも受付します。検診を希望される月に申込みください。
▼お問い合わせ
健康管理課
内線337

遺跡地図を販売

教育委員会では、市内の文化財を知ってもらおうと遺跡地図（B3版・多色刷・袋入り限定千部）を販売します。

購入ご希望の方は、教育委員会文化財保護係（内線324）へ。価格は、一部300円です。

『向日市史』会計課窓口にて1部3,600円で頒布中

『向日市史』上巻は市民のみなさんに三千六百円で頒布しています。

購入希望の方は、市役所一階の会計課窓口で代金と引き換えにお渡しします

『向日市史』上巻については、意見・感想・質問などがありましたら、おきかせください。

▼お問い合わせ
向日市役所企画課（寺戸町中野20）☎931－1111　内線277

7月3日から向陽プール開放

向陽プール（向陽小学校内）では、今年も7月3日から一般に開放します。

どうぞ、ご家族でご利用ください。

▼開放期間・時間
7月3日（月）～9月4日（日）
平日・土曜日＝午後3時～6時
日曜日＝午前9時～午後6時
▼対象
向日市民の方に限る
▼入場料
大人（中学生以上）200円　子ども100円
※勝山・西ノ岡・寺戸中学校生徒は、生徒手帳を持参した場合、子ども料金
なお、幼児（3歳以下）は無料ですが、必ず保護者同伴（付添い有料）でお越しください。
▼禁止事項
(1)他人に迷惑または危険を感じさせる行為。
(2)危険な遊戯。
(3)立入り禁止の場所に入ること。
▼注意事項
(1)小学生は、必ず通学用の帽子を着用のこと。着用しないものは入場を禁止します。
(2)小学生に限り、一般開放時の利用を学区単位で制限することがあります
▼お問い合わせ
財団法人・向日市社会体育振興会事務局（市教育委員会内）まで
☎931－1111

消費者研修会にお越しください

▼とき　7月7日（木）午後12時45分～3時
▼ところ　長岡京市産業文化会館3階
▼テーマ・講師
「健康と食生活」――食卓を豊かに楽しく――　山田晴一郎氏（大和学園京都調理師専門学校校長）
▼定員　50名
▼申込方法　経済課（内線335）または振興局商工課（☎933－4650）へ（電話で申込んでください）

7月の行事予定

老人福祉センター

◇休館日
3日（日）・11日（月）
17日（日）・25日（月）
31日（日）
◇独居老人昼食会
1日（金）・15日（金）
午前11時30分～午後1時
◇老人セーフティクラブ
1日（金）　午後2時～3時
◇健康相談
8日（金）・22日（金）
午後2時～3時30分
◇高齢者職業相談
12日（火）　午前10時～午後4時
◇血圧測定
14日（木）・28日（木）
午後1時30分～3時30分
◇清掃の日
7日（木）　午前10時30分～11時30分
◇スライド映写
29日（金）　午後1時～3時

ことばきこえの教室㉓

◎吃音（きつおん）

吃音は、いわゆる「どもり」として一般によく知られています。

始めの音を連発するタイプ（ボ・ボ・ボクネ）と最初の音が中々出せない難発型とに大きく分けることができます。幼児期は殆んどが連発型で、小学校高学年ころから難発型になっていくようです。

吃音の始まりは、2・3歳ころに多く、丁度ことばが豊かになる時期にあたっています。

この時期には、多くの子どもに一時的な吃音の様な症状が見られます。子どもによって数日から数週間そんな状態が続きます。放っておくといつの間にか治っています。

周りの者が心配して、「ゆっくりいってごらん」などとことばかけをすると、かえって悪化することがありますので注意して下さい。むしろ、自然な態度で、じっくり話を聞いてあげるのが良いのです。

また、この時期は、神経質な子どもにとって環境の大きな変化が吃音を誘発することもあります。引越しをしたら吃が出たという事例もあります。

いずれにせよこの時期の吃音は、90％以上が自然に治ってしまいますのでそう心配することはありません。

（この欄についてのご感想・ご質問・ご意見をお寄せください）

ことば・きこえの相談
▽とき　毎週土曜日
午前中
▽ところ　第6向陽小
☎934－0403

＜ゆずります＞

すり上げ障子	1件	裁断台	1件
編み機	1件	陳列ケース	1件
米びつ	1件	洗顔器	1件
サロンドライヤー	1件	あんま機	1件
電気オルガン	1件		

＜ゆずってください＞
子供用自転車（12～14インチ）・裁断台・ベビーベット・ゆりかご・ベビースケール・コンビラック・ミニサイクル・セミダブルベット